

あみだじ 阿弥陀寺 だより

2017年9月15日 第34号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

TEL (096) 289-0424 FAX (096) 297-9161

E-mail amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ [金剛山阿弥陀寺](#) 検索

郵便振替: 01710-8-68921 加入者名: 阿弥陀寺事務所



見えちゃった?

大谷 義文

おばけ合宿では、安田先生のピアノ伴奏に合わせ、「ゲゲゲの鬼太郎」の歌を合唱した。とても懐かしく、幼い頃を思い出した。週1回、数軒先の書道教室に通っていた私は、その日放映される「ゲゲの鬼太郎」を見てから家を出た。日は暮れ、道に立つと教室とは反対方向に墓地がある。背を向けて歩くとやけに気味悪く、一目散に走った。

合宿に参加した子どもたちは、4つの班に分かれ、それぞれに妖怪、お化けを考え出した。それらの特長や名前を、「ゲゲゲの鬼太郎」の歌詞に替え合唱した。みんな気に入つたらしく、休み時間になつても歌声が本堂に響いていた。

6月末、ある女性の49日忌が勤まつた。葬儀の時に号泣していた男の子も参列していた。いまだ

寂しげな彼に、「もうすぐお盆だね。ばあちゃん帰つて来るよ」と声をかけてみた。すると彼は「帰つて来ん」と言う。「どうして」と聞くと坊さん、人間は死んだら帰つて来んとよ」と。

昔は、お盆前になると山道の草を切り、庭を掃き提灯を下げ、陰膳を用意した。誰もが、その作業に疑いを抱かなかつた。合宿の夜、夏目漱石『夢十夜』第三話を語つていただいた。笛の音が響くと、田道が見えてきた。サギの鳴く声も聞こえる。やがて日は落ち、雨が降ってきた。何もない本堂に情景が見えてきた。

いつからだろう、私は見えなくなつたものが多くなつた。お彼岸、ご本尊に合掌し語られる言葉に身体を傾けたい。智慧の眼をいたくご縁がそこにある。

佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

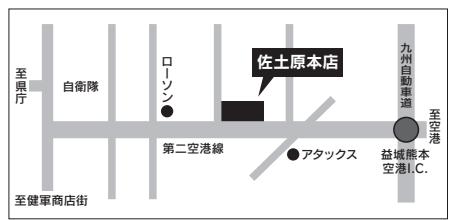
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

稻刈りでさびしく晴るる秋の野に 黄菊はあまた目を開き

『長塚節歌集』斎藤茂吉選 大正3年
『御修行奮闘記』釋博真(板原真人)

移ろいゆく時は、色を匂いをす
がたを変え流れていく。それを感
じると、生きている時間が変わる。
天然の細かい現象、植物動物、そ
して母を歌つた彼の生涯は37歳。
取り上げたら泣き出した。
私は中に、これだけはし
てはいけないという決ま
りがあるようだ。それは
親や祖父母に育てられた
感覺だろう。

先生方の子どもへの接
し方は余裕がある。目の
前の振る舞いよりも、遠
い未来を見据えていらっしゃるようだ。しかし、
あいさつは「ありがとう
ございました」と声を合
わせ、先生より早く頭を
上げてはならないので何
度もやり直しをされる。



あばけ合宿 in あみだ寺



お化けを呼び出す笛?
夕ごはん
就寝
修了証授与

オフビート off・beat リードのつぶやき 22

皆さん、こんにちは。
総代の森雄二です。社
会保険労務士をしてい
ます。ジャズに熱狂し
た、青春時代を回想し
ひととつぶやきたいと
思います。どうぞお付
き合いをお願いします。

2歳になる娘もわがま
らなそうな子、真剣に
うと涼しい顔の子、先生
の話を聞かず走り回る子
と様々。先生方は、お稽
古のあいさつの時、だけは
厳しかった。私はスタッ
フとして、素直に聞いて
くれる子をありがたいと
思つてしまう。暴れてケ
ガをしたらどうしよう、
ものを壊してしまうので
ないかと心配になる。

950年代ハードバップ
の天才。黒人トランペッ
ター、リー・モーガン。
1938年アメリカ
フィラデルフィア生まれ。
子どもの頃から神童と呼
ばれ、1961年アート・
ブレイキー&ザ・ジャズ・
メッセンジャーズの一員
として来日し、日本中に
ジャズブームを巻き起こ
しました。

の素晴らしさは筆舌し難
く、その艶やかな伸びの
あるホットな演奏は、
ジャズファンならず下町
の蕎麦屋の配達お兄さん
まで熱狂させました。

また、1963年レ

コーディングした「ザ・
サイドワインダー」は爆
発的なセールスを記録し
絶頂期を迎えた。し
かし、よいことは長くは
続かないのがジャズマン
の宿命。女性問題が絶え
ない彼は1972年2月、
ニューヨークのジャズク
ラブで演奏中、年上の愛
人32口径リボルバーで
撃たれ即死。享年33歳。

その熱き生涯をかけ抜け
た天才トランペッターの
あつけない幕切れでした。

森社会保険労務士事務所

代表 森 雄二 (阿弥陀寺 総代)

〒862-0941 熊本中央区出水1丁目1-25 サントビル3A-5
TEL:096-289-5570 携帯:090-1974-5405
E-mail:srmori1@r8.dion.ne.jp

- 労働相談
- 年金講演
- ライフワークセミナー

阿弥陀寺様でのお葬式

ファミリープラン
(家族・親族の安心プラン)
他のプランもございます。

30万円より
以下の内容が含まれます。

御棺一式	納骨一式	靈柩搬送	ドライアイス	遺影写真	生花祭壇
------	------	------	--------	------	------

含まれないもの。。。返礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは! (24時間)
豊城町宮園 547-3 096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasouge.com

秋 彼岸会 法要

日時・9月23日(土) 午後1時30分から読経
法話・「彼岸にいたる云能く能く 能と朗誦」

※5時から懇親会 参加費1000円

講師・安田 登 師 (能楽師・寺子屋講師 東京)
講師・南川 雅夫 師 (文芸評論家 アンソロジスト 東京)
大塚 康弘 師 (鍵盤ハーモニカ奏者研究家 東京)
澤村 豊子 師 (ギタリスト ポヤポヤ 熊本)

寺子屋「語りの秋」

日時・11月3日(金) 文化の日

午後2時から5時

※5時から懇親会 参加費1000円

講師・安田 登 師 (能楽師・寺子屋講師 東京)
澤村 豊子 師 (浪曲師 東京) ♦演目は当日のお楽しみ

寺子屋「歳暮の会」

日時・12月23日(土) 午後2時から5時

※5時から懇親会 参加費1000円

講師・安田 登 師 (能楽師・寺子屋講師 東京)
・香西 克章 師 (指揮者 東京)
・東 雅夫 師 (文芸評論家 アンソロジスト 東京)

図書紹介



著者は、寺子屋講師。「おばけ合宿 in あみだ寺」講師。本は、お寺で販売中。

安田さんは世にまれな『死語』の使い手である。

あわいの時代の『論語』

ヒューマン2・0
安田 登 著
発行所 春秋社
定価 1800円+税

猫伏石の声

○法名授与式

生前に、法名をいただき

○もちつき
12月30日(土曜日)
午前10時から

く儀式です。決して葬儀の準備ではなく、法名が人生の指針となるよう頗るわれていることに気づかされるためです。

「法名釋 ○○」

お寺に相談願います。

○報恩講

1月14日(日曜日)

正午から

法話 大谷 義文
語りと切り絵

柳家 松太郎 師匠

○人形供養等
ひな人形、記念品、遺品等の処分でお困りの方は、お寺で供養して処分いたします。

ご供養を続けていけるよう計画をしています。
合葬という形式で、複数の遺骨を合わせて納めるお墓を予定しています。

葬儀・祭壇 熊本県儀式共済グループ

ハタオ葬儀社 水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220(代)

豊住葬祭 豊住斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848(代)